

平成17年10月12日



news release

**割賦購入あっせん取扱高の好調と融資残高の順調な積み上がりにより
経常利益は前年同期比 23.7%の増加
純利益は同 36.5%の増加**

ポケットカード株式会社(8519)の平成18年2月期中間期業績は、営業収益が176億80百万円(前年同期比5.6%増)、経常利益が45億41百万円(同23.7%増)、純利益が22億54百万円(同36.5%増)と増収増益となりました。

営業収益全体では中間期としては過去最高となる176億80百万円(前年同期比5.6%増)を達成。その要因としては、割賦購入あっせん取扱高・収益の二桁増と融資残高の順調な積み上がりが挙げられます。

割賦購入あっせんについては、伊藤忠エネクス(株)や(株)サンリブなどの提携先企業での営業施策が順調に推移していることや、データベースマーケティングを活用した効率的な販促活動が成果をあげていることなどにより、割賦購入あっせん収益は19億13百万円(前年同期比13.3%増)の大幅な増加となりました。融資については、会員一人ひとりの信用度に応じた機動的な貸付限度額の設定、完済会員や未利用会員への積極的な利用促進アプローチなどが奏功し残高が順調に伸長、融資収益は145億47百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

次に営業費用については、131億30百万円(前年同期比0.5%増)と前年同期比ほぼ横ばいとなっており、営業収益の伸びに対して低く抑えております。要因としては、自己破産件数が引き続き減少傾向にあることにより貸倒関連費用が減少していることや、与信・債権管理部門及びインフォメーションセンターの事務所統合による業務の効率化、さらに全社的なロ・コスト・オペレーションの推進を継続的に進めた結果、販売管理費を抑制できたことがあげられます。

以上の結果、営業利益は前年同期比23.6%増の45億50百万円、経常利益は同23.7%増の45億41百万円、純利益は同36.5%増の22億54百万円となりました。

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	当期純利益
05年8月中間期	17,680	4,541	2,254
前年同期比	+5.6%	+23.7%	+36.5%
中間期業績予想	17,500	4,000	1,900

中間期のトピックス

伊藤忠エネクスとの提携カード「カーエネクス itsumo(ｲﾀ)カード」の新規会員獲得が好調！

2004年10月に募集を開始した伊藤忠エネクスとの提携カード「カーエネクス itsumo カード」への入会申込が、2005年8月時点で早くも10万件を突破しました。会員の利用頻度も高く、月間利用率は当社平均の約3倍超と、利用率の高いカードとなっています。今後も、5年間での目標会員獲得数30万件に向けて着実に計画を進めてまいります。

株式会社マイカルとの基本合意契約解消

2005年8月、当社と当社の親会社である三洋信販(株)及び(株)マイカルは、マイカルの展開する「SATY」「VIVRE」店舗内におけるクレジットカード事業の推進に関する基本契約の解消に合意いたしました。既に、カードの募集、取扱先としてのマイカルの比率は大きく低下しており、今回の契約解消による業績への影響は軽微であると考えております。

今後は既存のマイカルカード会員に対しては従来以上の特典・サービスを充実させた新カード「P-oneカード」への全面切替を行い、更なる会員の利便性向上を図ってまいります。

以上